

# キャッシュレス

まるわかりテキスト

VISA



# エコノミクス甲子園に 参加する高校生の皆さん

この度は「キャッシュレスまるわかりテキスト」をご覧いただきありがとうございます。

Visaはすべての人がそれぞれのやり方で日々の決済を自在にできるよう、幅広く様々な方法で支払いをサポートし、常に安全でシームレスな体験による安心感の提供を目指しています。

そのためには、未来を担う世代の方々の金融リテラシー強化が重要と考え、金融に親しんでいただく中で正しい知識の習得をサポートできればと考えています。

この大会を通じて、正しい知識を身につけ、日常生活での賢い選択を行う力をぜひ養っていただきたいと思います。

金融教育は、単なる知識の習得にとどまらず、皆さんの未来を切り拓く力となります。

楽しみながら、仲間と共に学び、役立つ知識やスキルを磨いてください。

皆さんの成長を応援しています

全国大会の舞台でお会いしましょう

**VISA**

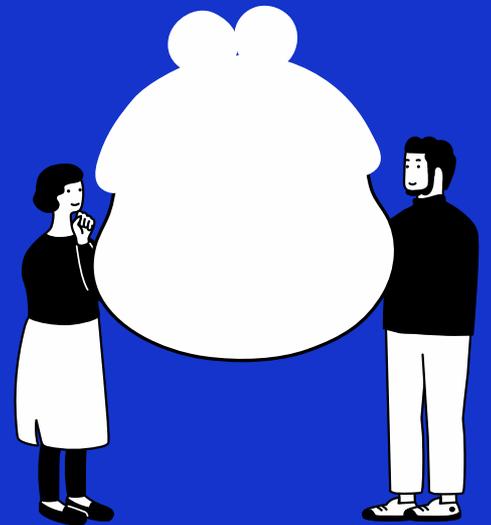


# CONTENTS

- 01 Visaについて
- 02 キャッシュレスとは？
- 03 キャッシュレスの歩み
- 04 日本におけるキャッシュレス
- 05 キャッシュレスの種類
- 06 キャッシュレスを支える技術
- 07 キャッシュレスのメリット・注意点
- 08 クレジットカードについて
- 09 デビットカードについて
- 10 楽しく学べる金融教育コンテンツに  
トライしてみよう

0) 1

Visaについて



## 01 Visaについて

皆さん、Visaをご存知でしょうか？

CM等で目にしたことがある人もいらっしゃるのではと思います。

おそらく、クレジットカードを発行している会社、というイメージを持たれている方が多いのではと思いますが、実は、カードは1枚も発行していません。**Visaはカード会社ではなくネットワークの会社なのです。**

私たちは世界最大の決済ネットワークの一つとして、安心・安全な決済ネットワークで世界を結び、お店や企業、そして消費者の皆さんが世界中でVisaの決済を利用することを可能にしています。

## グローバルな決済の流れ



200以上

利用可能な国と地域



48億枚

Visa カード発行枚数<sup>1</sup>

3,159億件

支払件数<sup>3</sup>

~14,500

金融機関顧客数<sup>2</sup>

16.1兆米ドル

利用可能な加盟店数<sup>3</sup>

1億5,000万以上

利用可能な加盟店数<sup>3</sup>

<sup>1</sup>2024年12月31日現在; <sup>2</sup>2024年9月30日現在; <sup>3</sup>2025年3月31日までの直近12か月、キャッシングを含む; <sup>4</sup>アクワイアラおよび第三者機関からの報告に基づく(2024年12月31日現在)。加盟店の数には、決済代行会社を利用する約4,200万の推定ロケーションを含む。

決済ネットワークで、支払いをする消費者や、お店、企業をつないでいると言っても少しイメージしづらいと思いますので、仕組みを簡単にご紹介します。



Visaはこのような仕組みで、決済ネットワークで世界を結び、世界中のすべての人にとって、いつでもどこでも誰からも選ばれ受け入れられる決済手段の提供により豊かな生活の実現を目指しています。

02

キャッシュレスとは？



## 02 キャッシュレスとは？

まずお金の役割について見ていきましょう。

現在のお金は、お金そのものに価値があるわけではありません。昔のお金は、金や銀できていたり、金や銀と交換できる紙幣でした。しかし、現在のお金、たとえば「1万円札」は金や銀とは交換できず、物質的には紙です。それでも「1万円札」が「1万円」として通用するのは、人々の“信用”があるからです。

そして、お金には、次の3つの機能があります。

1つ目は、支払・交換手段です。お金はモノやサービスの購入の支払にあて、これらと交換できる機能です。

2つ目は、価値尺度です。お金はモノやサービスの価値を判断する尺度、いわば物差しになる機能です。

3つ目は、価値保存、つまり貯蔵です。お金は価値を貯め、保存しておくことができる機能です。

01

### 支払・交換手段

お金はモノやサービスの  
購入の支払にあて、  
これらと交換できる機能

02

### 価値尺度

お金はモノやサービスの  
価値を判断する尺度、  
いわば物差しになる機能

03

### 貯蔵（価値保存）

お金は価値を貯め、保存して  
おくことができる機能

それでは本題ですが「キャッシュレス」について。

「キャッシュ」とは何でしょう？

「キャッシュ」とは物理的な現金（紙幣・硬貨）のことです。

一方で、最近話題になっている、「キャッシュレス」とは、現金の授受をせず、支払や受取をデジタル化された価値の移転で行うことです。具体的には、「電子マネー」や「デビットカード」「クレジットカード」などを使用することで、直接、現金の授受をしないで、支払いや受取りを行うことを言います。最近ではスマホでQRコードを表示して、決済という「QRコード決済」も高校生の皆さんにとって身近なサービスになってきたかもしれませんね。

### キャッシュ

物理的な現金（紙幣・硬貨）



### キャッシュレス

現金の授受をせず、支払や受取をデジタル化された価値の移転で行うこと



(出所) キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2019」(2019年4月)より金融庁作成

03

# 日本における キャッシュレスの歩み



## 03 日本におけるキャッシュレスの歩み

(出所)一般社団法人キャッシュレス推進協議会、キャッシュレス年表

01

日本で最初の  
キャッシュレス

キャッシュレスの歴史をさかのぼると、戦後すぐの百貨店・ミシン業界を中心に月賦による支払い※が普及したことから始まりま

す。  
(※売買代金の支払について、その代金の一部または全部の支払を将来に延期し、それを一定の期間内に分割して支払うことを条件とした販売方式)

02

## クレジットカードの発行

日本でのクレジットカードの初めての発行は1961年と今から60年以上も前になります。Visaカードが初めて発行されたのは、1980年。株式会社住友クレジットサービス（現：三井住友カード株式会社）が日本初のVisaカードを発行しています。

03

## ECサイトの開始

インターネットの普及に伴い、ヤフー株式会社が「Yahoo!ショッピング」「Yahoo!オークション」を、アマゾンジャパン合同会社が本販売のECサイト「Amazon」を開始しました。これにより、オンライン上で決済することが身近になります。

04

## 交通系ICカードの利用開始

東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）がSuicaを開始しました。電車やバスを利用している皆さまのような高校生にとっても身近なキャッシュレスサービスとなりました。

05

## デビットカードの利用開始

2006年するが銀行株式会社が国内初のVisaデビットカードを発行しました。

※日本デビットカード推進協議会がJ-Debitを開始したのは1999年から

06

## モバイル決済の普及

AlipayやApple Pay等モバイル決済の国内取り扱いが開始されました。

07

## 『キャッシュレス・ビジョン』公表

経済産業省より2025年までにキャッシュレス決済比率40%という目標が発表されました。この目標は2024年に42.8%と達成しました。将来的にはキャッシュレス決済比率80%を目指す、とされており、皆さんの生活にはますますキャッシュレス決済が欠かせないものとなっていきます。



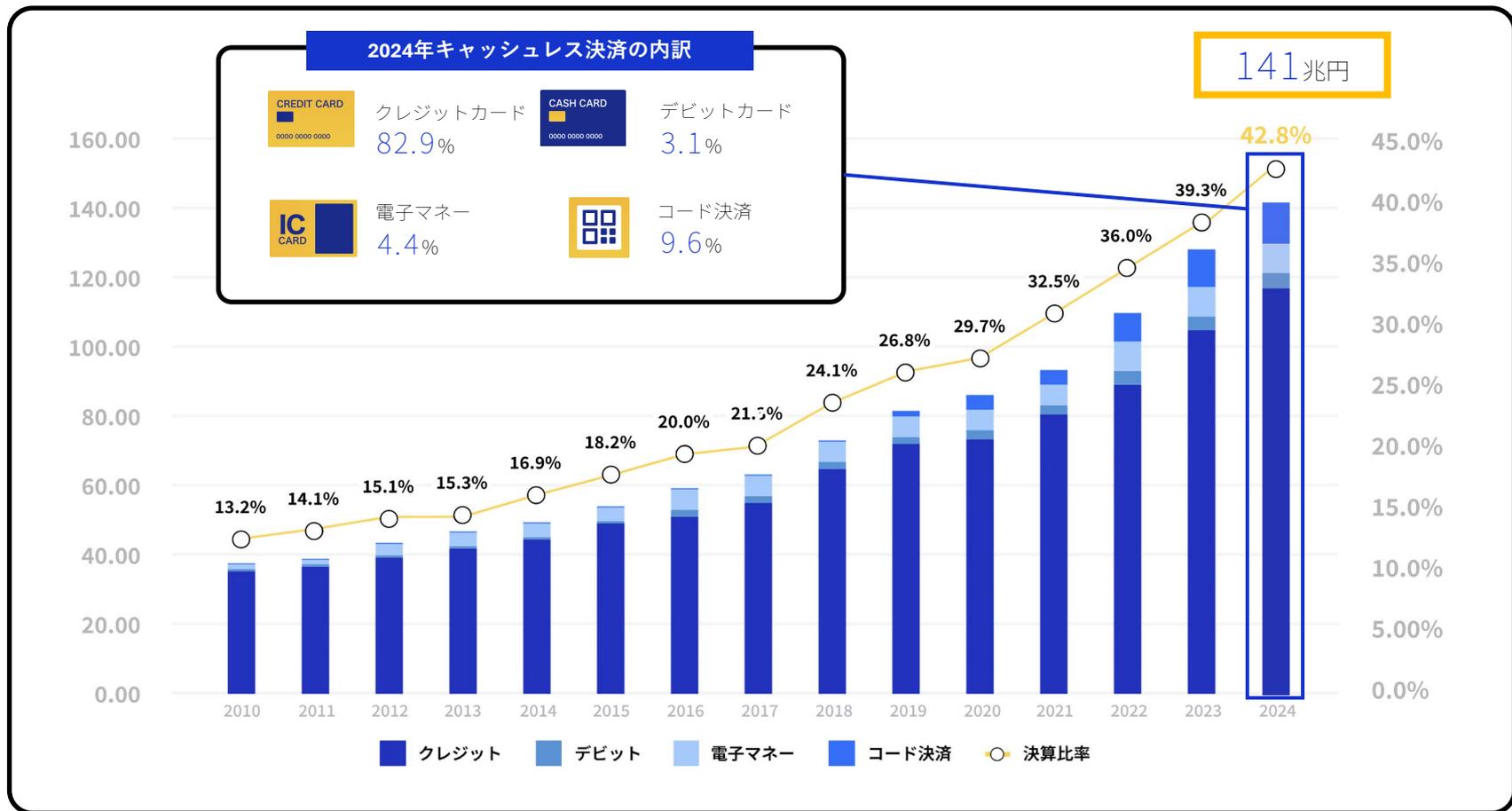
# 4

## 日本における キャッシュレス



# 04 日本におけるキャッシュレス

CASHLESS IN JAPAN



(出所)経済産業省 2025年3月公表

キャッシュレス決済比率は年々上昇しており、2024年時点で42.8%（141兆円）となりました。内訳は、クレジットカードが82.9%（116.9兆円）、デビットカードが3.1%（4.4兆円）、電子マネーが4.4%（6.2兆円）、コード決済が9.6%（13.5兆円）でした。政府が掲げた「キャッシュレス決済比率を2025年までに4割程度にする」という目標については、すでに達成しています。

05

# キャッシュレスの 種類について



# 05 キャッシュレスの種類について

それでは、キャッシュレスの種類について紹介していきます。

大きく分けて、電子マネー・QRコード決済・デビットカード・クレジットカードとあります。

それぞれ特徴は異なりますが、共通して言えるキャッシュレスの大きなメリットが、現金をおろしたり持ち歩く必要がないこと、アプリ等で支出の管理が出来、家計簿代わりに使えることです。

少額の支払いはQRコード決済、普段の買い物はデビットカード/クレジットカード、分割払いが必要なものはクレジットカード等の使い分けをするのも良いでしょう。

TYPE

	電子マネー	デビットカード	クレジットカード	QRコード決済
支払いタイミング	事前チャージ	即時	後払い	事前チャージ（クレジットと連携可）
利用限度額	チャージ額まで	口座残高まで	クレジットカード会社との取り決めで決定	チャージ額まで（クレジットカードと連携した場合は別）
発行の容易さ	容易	銀行口座があれば容易	クレジットカード会社の審査がある	容易
手数料	なし	なし	1〜2回払い以外は手数料がかかる	なし



## 電子マネー

電子マネーとは、その名の通り現金の代わりに使える電子データ化されたお金のことで、情報通信技術を用いて決済できるサービスです。ICカードやスマートフォンを決済端末にかざすことで決済が完了します。事前にお金をチャージしておくことで支払いが可能です。

	電子マネー	デビットカード	クレジットカード	QRコード決済
支払いタイミング	事前チャージ	即時	後払い	事前チャージ（クレジットと連携可）
利用限度額	チャージ額まで	口座残高まで	クレジットカード会社との取り決めで決定	チャージ額まで（クレジットカードと連携した場合は別）
発行の容易さ	容易	銀行口座があれば容易	クレジットカード会社の審査がある	容易
手数料	なし	なし	1~2回払い以外は手数料がかかる	なし



## QRコード決済

次にQRコード決済。スマートフォンで店側が表示したコードを読み取ったり、自分のコードを表示するだけで決済できるサービスで、「コード決済」「スマホ決済」と呼ばれることもあります。事前にアプリにお金をチャージしておいたり、クレジットカードと連携させておくことで支払いが可能です。

	電子マネー	デビットカード	クレジットカード	QRコード決済
支払いタイミング	事前チャージ	即時	後払い	事前チャージ（クレジットと連携可）
利用限度額	チャージ額まで	口座残高まで	クレジットカード会社との取り決めで決定	チャージ額まで（クレジットカードと連携した場合は別）
発行の容易さ	容易	銀行口座があれば容易	クレジットカード会社の審査がある	容易
手数料	なし	なし	1~2回払い以外は手数料がかかる	なし



## デビットカード

次にデビットカード。次に説明するクレジットカードとお店での使い方は同じですが、支払いの形態が大きく異なります。デビットカードは、お店で利用した代金が、即座に普通預金口座から引き落としされるため毎日の現金でのお支払いの代わりに使えるのです。銀行口座があれば簡単に発行することができ、皆さんたちのような高校生でも作ることが可能※です。

※発行可能年齢は、発行金融機関によって異なる場合があります。

	電子マネー	デビットカード	クレジットカード	QRコード決済
支払いタイミング	事前チャージ	即時	後払い	事前チャージ（クレジットと連携可）
利用限度額	チャージ額まで	口座残高まで	クレジットカード会社との取り決めで決定	チャージ額まで（クレジットカードと連携した場合は別）
発行の容易さ	容易	銀行口座があれば容易	クレジットカード会社の審査がある	容易
手数料	なし	なし	1～2回払い以外は手数料がかかる	なし



## クレジットカード

最後にクレジットカード。クレジットカードは、購入した商品やサービスの代金を使った分だけ、後日、決まった期日にまとめて銀行口座から引き落とされる後払いシステムです。その場に現金の持ちあわせがない場合はもちろん、銀行口座にお金がなくてもお買い物をするのが可能です。

クレジットカードは高校生では発行することが出来ません。大人になっても発行するには審査が必要になります。審査が必要な理由は、翌月・翌々月に引落しがあるまで、お金を“借りている”状況にあるからです。返済が可能かどうかを年収や過去の利用状況などを踏まえて、クレジットカード会社が利用者の信用情報を見て審査しているのです。

電子マネー、デビットカード、QRコード決済の場合は、事前にチャージしたり、銀行口座の残高の範囲内で決済するため、カード発行会社はお金を貸しているわけではないので、審査が必要ないのです。

	電子マネー	デビットカード	クレジットカード	QRコード決済
支払いタイミング	事前チャージ	即時	後払い	事前チャージ (クレジットと連携可)
利用限度額	チャージ額まで	口座残高まで	クレジットカード会社との取り決めで決定	チャージ額まで (クレジットカードと連携した場合は別)
発行の容易さ	容易	銀行口座があれば容易	クレジットカード会社の審査がある	容易
手数料	なし	なし	1~2回払い以外は手数料がかかる	なし

06

# キャッシュレスを 支える技術



## 06 キャッシュレスを支える技術

「タッチ決済」の利用が非常に増えています。

※リップルマークといわれる波のような形をしたタッチ決済対応マークがついているカードであればタッチ決済が可能です。



TECHNOLOGY



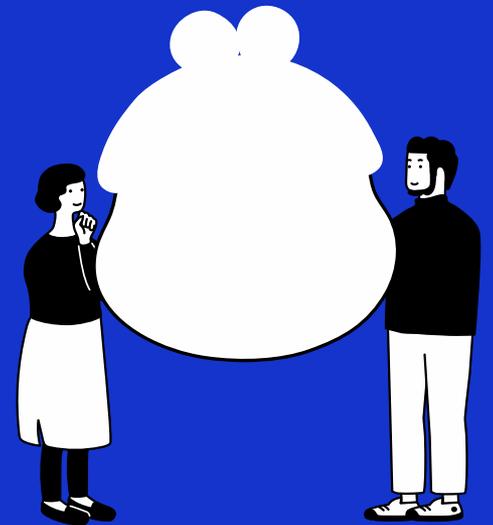
昨今は、クレジットカードやデビットカード、スマートフォンなどのデバイスを専用端末にピッとタッチするだけで決済が完了できる「タッチ決済」の利用が非常に増えています。

日本のVisaの対面取引のうち**50%以上がタッチ決済です（2025年3月末時点）**。コンビニ・スーパーなどの日常的な少額の買い物時にも手間暇かけずスピーディでスムーズ、気軽に使用できるので普及したのでしょう。最近だと、電車やバスなどの公共交通機関もタッチ決済で利用できる仕組みが広がっています。また、暗証番号やサインが不要で\*、完全非接触で決済を行えることから、できるだけ接触機会を減らしたい時代にふさわしい決済方法ともいえるでしょう。

\*一定金額を超えるお支払いは、カードを挿し暗証番号を入力するか、サインが必要となります。

# 7

## キャッシュレス決済の メリット・注意点について



# 07 キャッシュレス決済の メリット・注意点について

キャッシュレス決済のメリットと注意点について見てみましょう。メリットはたくさんありますが、利用するときに注意が必要な点もしっかりと理解して、うまく使う必要があります。

## メリット

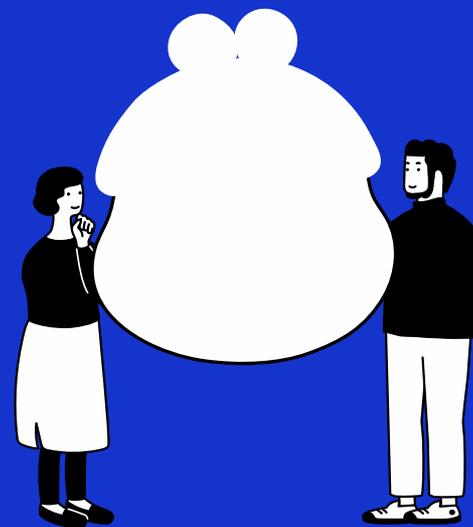
- 現金をたくさん持ち歩かなくて良い
- ATMに立ち寄る回数が減る
- お金のやり取りが簡単
- 何にいくら使ったかアプリで確認できる
- ポイント還元を受けられる

## 注意点

- 使った実感が湧きにくいので、使い過ぎてしまいやすい
- 金利や手数料が発生する場合がある
- 店舗によって利用できないところがある
- 停電時などに使えない
- カード情報を盗まれると不正利用される

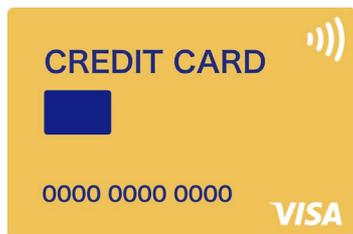
08

# クレジットカードについて



## 08 クレジットカードについて

クレジットカードについてしっかりと見ていきましょう。



クレジットカードを使うことは  
“お金を借りる”ことです。

物やサービスをクレジットカードで買って、次の月に支払う、というサービスですが、買ってから支払うまではお金を借りていることになります。クレジットは物やサービスを買うためにお金を借りて、後で支払います。

気を付けておかなければならないのは、“お金を借りる”仕組みである以上金利がかかり、取引によってはかなりの高い利子が取られることです。一括払いや2回の分割払いであれば金利はかかりませんが、それ以上の分割払いになると10%以上の金利が取られます。

毎月一定額を返済するリボルビング払い、通称リボ払いという方法もあります。

リボ払いは、いくら使っても毎月の返済額が一定金額になるというメリットもありますが、手数料として12-15%がかかるため、支払う金利が大きくなります。“借金”の元本がなかなか減らない、という見方も出来るでしょう。

クレジットカードを利用するには、しっかりと上記仕組みを知り、自分に合った使い方を把握したり、自分の中のルールを決めておくことがとても大切です。

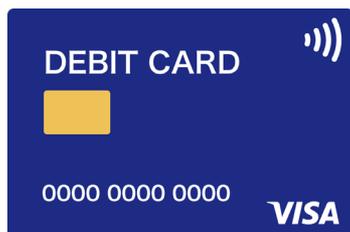
09

# デビットカードについて



## 09 デビットカードについて

デビットカードについてもしっかりと見ていきましょう。



デビットカードの特長は  
使ったその場で銀行口座から直払いされることです。

お買い物の代金は自分の銀行口座からその場ですぐ引き落としされるため、後から請求されることがなく、安心して使えます。クレジットカードのような“お金を借りている”という仕組みではなく、銀行口座をお持ちの15歳以上※の方なら、誰でも発行することが可能です。

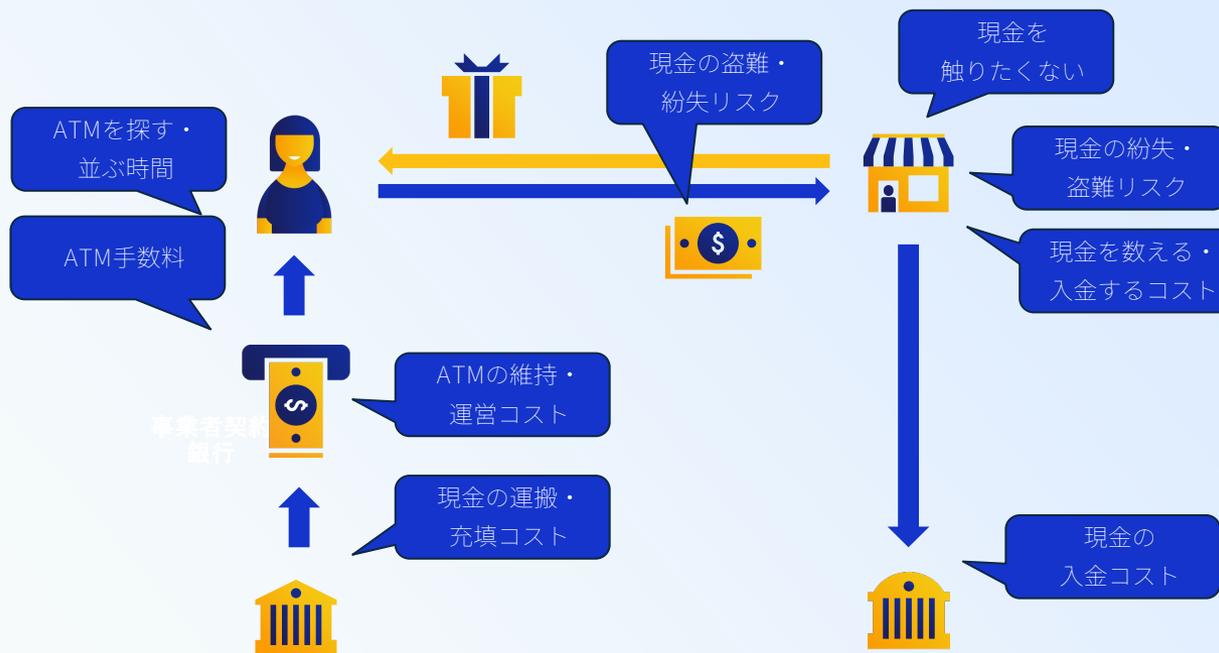
また、使った金額がすぐ銀行口座から引き落としされるので、より現金に近い感覚でお金を管理することが出来るのです。アプリ等を利用して、いついくら使ったのかを把握することも簡単ですので、家計簿機能付きのお財布という感覚でお使いいただくことが出来ます。

デビットカードは、エコノミクス甲子園に参加する高校生の皆さんにもおすすめです。

※発行可能年齢は、発行金融機関によって異なる場合があります。

ただし、それであれば、現金でも良いのではないかと感じる人もいます。

## 現金を使用した場合のお金の流れ



実は現金を使用することに伴うデメリットがあげられます。

まず、消費者のデメリットとしては、ATMに行ってお金をおろす必要があること・ATMの手数料がかかってしまうこともあること・現金の盗難や紛失のリスク等が挙げられます。また、「お金を管理する」といった側面を見た時に、几帳面に家計簿をつける人でなければ、後から振り返った時に、どこでいくら使ったのかわからなくなってしまふ、という点も短所と言えるでしょう。

また、お店側のデメリットとしては、現金の紛失や盗難リスク・正しい金額が支払われたのか確認するために現金を数え、入金をするという負担やコストがかかること、また、コロナ禍で話題となりましたが、現金を触るリスク等が挙げられます。

## これまでのお金の流れ



## これからのお金の流れ



つまり、デビットカードを使ってお金をネットワーク上でやり取りすることで  
現金の取り扱いに伴うリスクやコストがなくなるのです

また、紙幣や硬貨を作るための資源が減ったり、現金輸送車が排出するCO2も減るといった点では、環境面での配慮にもつながります。

0

楽しく学べる金融教育コンテンツ  
にトライしてみよう



# 「お金性格診断」にトライしてみよう

TRY

ここまで、「キャッシュレス」について解説していききましたが、理解が深まったでしょうか？

エコノミクス甲子園本番に向けて、さらに理解を深めていってくださいね！

最後になりますが、Visaが大学生と一緒に作った楽しく学べる金融教育コンテンツを紹介いたします。

日々の生活の中で、「お金の価値観」や「お金の使い方」など、気づきにくいものです。



## 「お金性格診断」

では、簡単な質問に答えていくだけで、  
あなたのお金の使い方を8種類のタイプの中から分類します！



他のタイプとの相性や、タイプごとのオリジナルストーリーも御覧いただけます！

# 「お金の達人一首」にトライしてみよう



## 「お金の達人一首」

遊びながらお金の知識やスキルについて学べる  
カードゲームです！



金融リテラシーを身につけるために必要な家計管理や金融・経済の仕組み、消費生活などに関する知識が楽しく遊びながら身につきます。

10

TRY

# 「お金の達人一首」の解説もチェック！

10

TRY



## 「お金の達人一首解説テキスト」

お金の達人一首に出てきたキーワードを正しく理解して達人一首名人になろう！



このテキストでは、お金の達人一首に登場する全46種類の読み札について解説しています。解説文は、高校金融教育の学習指導要領に基づいて作成されており、高校生のうちに身につけておきたいお金の知識をまとめて学ぶことができます。

# 「お金知識検定」にトライしてみよう

10

TRY



## 「お金知識検定」

なかなか知ることのできない「自分のお金の知識レベル」。  
ぜひこの機会に、実力を試してみてください。



全問正解できたあなたには、  
Visaが認定証をプレゼント! この検定でしか手に入らない認定証を  
GETできるようにチャレンジしてみてください!

***VISA***